



本との出会い♡

広報6月号の「図書室だより」に掲載されていた「読書通帳」。調べてみると、子どもたちの読書推進のために開成小学校・開成南小学校の1年生に配布されていることが判明！読書通帳を使いながら、本との出会いを楽しんでいる開成南小学校の児童と先生にお話を聞いてみました。

企画政策課 ☎84-0312



今回、お話を聴かせていただいたのは、本が大好きだという、開成南小学校2年生の安田 彩那さんと金井 梨恵先生です。



彩那ちゃんはどうくらい本を読むの？
どんな本が好きですか？

1年生の時から読んだ本を140冊以上記録しています。1日に4、5冊読むこともあります！



不思議だなと思える本とか、ワクワクする冒険ものの本が好きです。

幼いころにおばあちゃんが読み聞かせをしてくれて、本が大好きになった彩那ちゃん。5歳のころには自分で本を読みたいと思ったそうです。



彩那ちゃんの今イチ押しの本は…『銭天堂』



あじさいちゃんメモ

読書通帳には、自分が読んだ本のタイトルや感想を記録できて、1つの読書通帳に20冊の本のことを書くことができるよ。開成小学校・開成南小学校の1年生に配付されるほか、町民センター図書室でももらえます！

金井先生が思う、読書のすばらしさは？



現実と違う体験ができて、いろいろな世界観や想像力が養われるところです。



本との出会いによって得られる体験は、とってもステキなものだと思います。みなさんもいろいろな本を読んで、いろいろな世界に出会ってほしいです！

小学生のころ、校庭で遊ぶ元気印だった金井先生。『チャーリーとチョコレート工場』の本が好きだったそうです。



取材後記

思えば、自分はどれだけ本に親しんでいるのだろう…年に5、6冊？彩那ちゃんや金井先生のお話を聞いていたら、なんだか読書をしたくなってきました(笑) 忙しさにかこつけて、読書から遠ざかっている私も、実は蔵書 1,000 冊超えなんです。彩那ちゃん、読書の楽しさを再認識させてくれてありがとう！

まちづくり情報特派員 小田 猛



もしもの時に備えましょう 避難行動要支援者の登録制度

問 福祉介護課 ☎84-0316

災害時に多くの命を守るためには、一人ひとりが災害に備えておくこと、そして、地域の住民同士が助け合い、避難することが大切です。

町には、高齢者や障がい者、妊産婦の方や小さなお子さんなど、災害時に配慮が必要な方のうち、避難支援等が必要

な方に対し「避難行動要支援者」として登録できる制度があります。登録した情報は町の関係機関と共有し、災害時の避難支援や安否確認に利用されるとともに、日常での地域の見守りや支えあい活動にも役立てられます。

避難行動要支援者

対象になる方

次のうち、災害時に自ら避難することが困難なため、支援を要する方

- ・要支援・要介護認定を受けている方
 - ・障害者手帳を所持している方
 - ・3歳未満の子ども
 - ・ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、外国籍の方、妊婦の方など、支援を必要とされている方
- ※施設や病院などに入所・入院されている方は対象になりません。



日常
見守り・支えあい



災害時
避難支援・安否確認



申請
※町と関係機関との
情報共有に同意が
必要



情報共有

町の関係機関

(民生委員・社会福祉協議会・自治会)

町(福祉介護課)

福祉・介護等専門職の方の力が必要です

町では、大規模災害が発生し避難所を設置する際、支援が必要な方が避難できるよう、指定福祉避難所(開成町福祉会館)を設置します。指定福祉避難所での避難生活の介助等を行っていたく保健衛生、福祉及び介護等の専門職の方の登録制度を設けています。

詳しくは福祉介護課へお問い合わせください。

避難行動要支援者の登録するには…

町福祉介護課の窓口に申請書を提出することで、登録することができます。登録した情報を町の関係機関と共有するため、避難行動要支援者本人の同意が必要です。登録をご希望の方は、福祉介護課へお問い合わせください。